

◇あゆネット勉強会

【講演】

女性の活躍に関する勉強会



講師 佐々木菜々子様
愛知県副知事

プロフィール

岩手県出身。東北大学を卒業後、1996年旧・労働省に入省。非正規雇用の問題や外国人技能実習制度など、主に労働行政を担当。海外人材育成担当参事官室長を経て、昨年7月愛知県副知事に就任。地方勤務は、宮城県、北海道に続き3回目

女性の社会進出が叫ばれてすでに久しい感があります。しかしながらデータを見る限り、ジェンダーギャップ指数で日本は後進国で、政界、財界共に女性の登用が少ないというのが現状です。

特に愛知県においては、「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という意識が高い傾向にあり、保守的な地域と言わざるを得ません。これは、古来より刷り込まれた日本人の気質かもしれません。こうした意識の変換は一朝一夕で出来るものではなく、長い歴史の中で変化していくものなのだと思います。

一方で少子化問題が近い将来に切実な課題として降りかかってくることが予測されます。現実には労働力不足は顕著に表れており政府も様々な政策を打ち出しています。もちろん、女性の社会進出と少子化問題を同列に論ずるべきではないと思いますが、「子供を産む」という能力は女性にしか備わっていないものである以上、ジレンマにもなっていると感じます。「グローバル化」や「ダイバーシティ」を声高く叫ばれていますが、まずは私たち自身が身近な問題としてしっかりと現状を認識し、理解を深めることが肝要なことと思います。今回のご講演を聞き、LGBTの問題と同様に既成概念からの脱却を目指し、官民一体となつての環境整備が望まれると感じました。紙面を借りまして改めて佐々木副知事のご講演に深く感謝申し上げます。

(出崎 浩貴)

令和2年4月から配布されたアベノマスク。この「アベノマスク」に大量在庫（8000万枚）があり、管理費・廃棄費用に多額の費用が発生することが、厚生労働省より令和3年12月に発表されました。その後、政府より「マスクの配布希望を募る」という趣旨をTVで知り、あゆネット代表に許可を得て、平型300枚、立体型300枚を申請しました。使用目的は「こども食堂・その他に利用」としましたが、応募者が多く、届いたのは平型300枚（2枚入り）のみ。

すでに布製マスクは感染症予防にはならないことが周知事実になっており、こども食堂と施設の厨房で使用して頂く形で寄付をしました。

「税金で作られ、残れば捨てるようなことは、それがアベノマスクでなくてもムダにすることなく、できる範囲で役立てたい、有効利用したい」という考えからです。

堀 祐子

役員会資料参照

「令和4年度 後期活動予定」

開催日時	内 容	会 場
11月26日（土）	交 流 会	未 定
3月 上旬	講 演 会	未 定
5月	総 会	

「あゆネット」は、尾張旭市と協働で男女共同参画社会を推進しているボランティアグループです。

セミナーやワークショップなどを通して社会の役に立つことを学び、より良い社会をめざして着実に「歩む（あゆむ）」、あゆネットです。

★会員募集 年会費 1,000 円

[編集後記]

コロナ禍において多くの人が集まることは誰しも躊躇することと思います。ある祭りでは、入り口で全員の検温、マスクに検温済みのシールを貼るという工夫をしながら実施されました。素晴らしい決断により久しぶりの祭りを人々が楽しむことが出来ました。

これからは様々に工夫をしながらイベントを開催するということを考える時になりましたね。

編集・発行 尾張旭市男女共同参画社会推進ボランティアあゆネット

編集協力 尾張旭市市民生活部多様性推進課 TEL(0561)76-8125 tayoseisuishin@city.owariasahi.lg.jp

尾張旭市市民活動支援センター TEL(0561)51-2878 katudoushien@city.owariasahi.lg.jp